

管理コード	書籍名	価格	発行日	版	頁	主な内容
産業遺産研究第1号～第24号までの全号						24,500円
S022	産業遺産研究第22号	¥1,500	2015.7.12	A4	80	杉本 漢三「産業遺産から学ぶ「技術の伝承」の大切さ」・永田 宏、大橋公雄、天野 武弘、石田 正治、斎藤 修啓「佐々木 享元会長を偲ぶ」・白井 昭、藤井 建「「幅豆石」の運搬軌道」・永田 宏「共進会－第十回関西府県連合共進会を中心に」・田口 憲一「岐阜県東部の砂防堰堤についてその2」・野口 英一朗、岩井章真、小野 雅信「蒲郡市の鋸屋根工場の一次調査－その3－鋸屋根工場の業種別での特徴」・杉本 漢三「自動車の無段変速機(CVT)の技術史について」・浅野 伸一「産業記念碑に関する一考察」・天野 武弘「手回しガラ紡績機－新発見機と既存の2台」・大橋 公雄さん「リニューアルした岡谷蚕糸博物館－五感で体験、生まれ変わった博物館」・ほか
S023	産業遺産研究第23号	¥1,500	2016.7.24	A4	80	岩井章真、天野武弘、野口英一朗、山田富久「津島市のリードワイヤー工場－箆直りリード製作所本社工場」・小野雅信、野口英一朗、岩井章真「知多地方の鋸屋根工場の一次調査－その1－知多市・阿久比町・東浦町」・田口憲一「岐阜県東部の砂防堰堤についてその3」・杉本漢三「多段膨張蒸気機関の歴史とガンソリン機関への応用」・野口英一朗「名古屋商業会議所(現名古屋商工会議所)の本館(現建中寺徳興殿)と講堂について」・横山悦生「佐々木享先生の人生の歩みと技術史や産業遺産に関する研究業績について」・佐々木享「論文の作り方(抄録)－タイトル、要旨、キーワードなどに関する諸問題」・漢人省三「浜名湖れんが館(旧宮崎製糸乾藪倉庫)～静岡県西部の養蚕・製糸の歴史ととも～」・大橋公雄「岐阜県の神坂風穴見学記－恵那市の山本風穴、東野蚕種製造所、中津川市の神坂風穴」・天野武弘「石川繊維資料館」・寺沢安正「四郷郷土資料館(四日市市指定有形文化財)」・インタビュー 与えられた場所で最善をつくす 島田 晴人さんほか
S024	産業遺産研究第24号	¥1,500	2017.7.23	A4	111	橋本英樹「技術史研究の視点を生かした技術者倫理教育の取り組み、岩井章真、天野武弘、野口英一朗、磯部恭子、小野雅信「一宮市木曾川町玉ノ井毛織物工場その1～葛利毛織工業の沿革と機械」・田口憲一「保古用水 深沢水路橋」・追悼「中住健二郎副会長を偲ぶ」・杉本漢三「ディーゼル航空機の開発史とディーゼル車両への応用」・入江隆亮「神岡鉱山～明治末・大正期の鉱山経営」・浅野伸一「熱田火力発電所、インタビュー「私の歩いた道」路面電車で魅せられて 藤井建さん」ほか
N034	日本の技術史をみる眼第34回講演報告資料集	¥1,000	2016.2.21	A4	44	『稼働遺産とその活用－新たな展開を求めて』清水憲一「産業遺産の評価と保存－明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録の経験から」・葛山拓也「現役の鉄道可動橋 末広橋梁」・成田年秀「未だ稼働し続けるシャトル織機」・白井昭「大井川鐵道での鉄道保存を願ひて」、中部産業遺産研究会・「シンポジウム」日本の技術史をみる眼」第1回～第34回開催史
N035	日本の技術史をみる眼第35回講演報告資料集	¥1,000	2017.2.26	A4	32	『ものづくりとデザイン－産業の近代化とデザインの歩み』布垣直昭「デザイン視点でのモノづくりと社会的価値」、梅本良作「マザーマシンにみるデザインの変遷」、中部産業遺産研究会・「シンポジウム」日本の技術史をみる眼」第1回～第35回開催史
Y005	Rediscovering the Art of Manufacturing	¥100	2001.10.20	A4	48	「ものづくり再発見」の英語版、フルカラー
CDK01	創立20周年記念誌 中部における産業遺産研究のあゆみ (CD-R版)	¥1,500	2014.7.20	—	—	一 発行のご挨拶 一 永田宏「発行のご挨拶 中部産業遺産研究会創立20周年を迎えて」 一 祝辞 一 坪井珍彦「産業遺産を未来へ引き継ぐ 祝辞にかえて」・伊東孝「中部産業遺産研究会の20周年を祝す」 一 第一部 創立20周年記念祝賀会 一 編集委員会「創立20周年記念祝賀会の開催」・石田正治「中部産業遺産研究会創立20周年記念祝賀会 開催挨拶」・鈴木淳「産業遺産研究の到達点と課題－世界遺産推薦問題で見て来たもの」 一 第二部 中部産業遺産研究会の20年－[I] 研究活動・佐々木享「中部における産業遺産研究のあゆみ－中部産業遺産研究会略史」・編集委員会「産業遺産研究の窓」『産業遺産研究』各号の「巻頭言」から」・浅野 伸一「『産業遺産研究』の編集・発刊」・山田 貢「シンポジウム「日本の技術史をみる眼」の開催」・寺沢安正「シンポジウム「中部の電力のあゆみ」の開催」・寺沢安正・大橋公雄「『パネル展』の開催(連続9回)」・種田明「TICCIH中間会議2005」の開催」・近藤是「夏の産業遺産見学旅行(連続10回)」・赤崎まき子「ものづくり文化再発見！ウォーキング」・橋本英樹「中部産業遺産研究会 電子メール版ニュースレター配信への取り組み」・大橋公雄「中日新聞連載「ふるさとの産業遺産－先人の知恵と汗の結晶」」・大橋公雄「中部産業遺産研究会の出版活動」・石田正治「産業遺産データベース構築の課題と展望」・天野武弘「中部産業遺産研究会における学術研究団体との連携、協力」[II] 調査と保存例をめぐって・天野武弘「産業遺産の調査・記録・保存とその課題－30年余の私の産業遺産調査から」・高橋伊佐夫「岐阜の産業遺産の調査と保存事例」・石田正治「布里発電所水車ランナーとガラ紡績機の保存」・中住健二郎「エルー式電気炉・送電鉄塔を調査して」・大橋公雄「庄内用水元杖樋の調査と保存」・山元章人「大宝排水機場の調査研究とその保存」・水野信太郎「旧カフビールの実測調査とその後の課題」・柿田富造「常滑の石炭窯と煉瓦煙突の調査から」・田口憲一「小里川の産業遺産」・橋本英樹「保存鉄道を通じた「保存と活用」の実践－白井昭」・山田貢「愛岐トンネル群の再生と保存活動」・岩井章真・野口英一朗・小野雅信「近年の一宮市の鋸屋根工場(群)を巡る動向」・天野博之「まちづくりの現場から見た近代化遺産の保存と活用」・永田宏「名古屋テレビ塔から瀬戸デジタルタワーへ－名古屋テレビ塔のアンテナ保存について」・渡辺治男「日本の受信用真空管と広告」・杉本漢三「フクイチ原発博物館の将来構想について」・玉川寛治「日本のシルクロードの蚕糸系産業遺産」・島和雄「ブリュナエンジンの使用痕跡という遺産」 一 第三部 中部産業遺産研究会創立前史 一 人見昭・大橋公雄「中部産業遺産研究会創立前史(I)－一定時制工業研究会と愛知技術教育研究会の活動から技術史学習へ」・石田正治「中部産業遺産研究会創立前史(II)－トヨタ財団第3回研究コンクールと「愛知の産業遺産・遺物調査保存研究会」の歩み」 一 第四部 産業遺産研究の思い出－[I] 故人の思い出(研究会草創期の先覚者)・佐々木享「日本技術史研究の草分け+加藤博雄さんの思い出」・天野武弘「飯塚一雄、産業遺産調査の先覚者」・石田正治「高圧碍子の開発者・藤村哲夫の思い出」・大橋公雄「近代経済史の開拓者・近藤哲生先生を悼む」[II] 産業遺産研究への期待と課題・成田年秀「動かし続けることにこだわる博物館－産業技術記念館の意義と課題」・鈴木一義「中部産業遺産研究会」創立20周年」に際して～思いつくまに」・権上かおる「産業遺産の応援団」・玉川寛治「産業遺産研究と中部産産研」・原田喬「荒船風穴 世界遺産の期待と課題」・山田大隆「産業遺産研究への期待と課題」・市原猛志「産業遺産研究の問題点と研究の継承」 一 第五部 資料 一 大橋公雄「歴代の役員(前身団体の役員を含む)」・岩井章真「中部産業遺産研究会およびその前身団体の書籍、冊子 1971年9月～2014年5月」 ・中部産業遺産研究会事務局「中部産業遺産研究会規約」中部産業遺産研究会およびその前身団体の書籍、冊子 1971年9月～2014年5月 データファイル(Microsoft Excelファイル)
産業遺産研究第2号、産業遺産研究第3号、産業遺産研究第6号、産業遺産研究第7号、産業遺産研究第13号、産業遺産研究第14号、産業遺産研究第16号、産業遺産研究第17号、産業遺産研究第18号、産業遺産研究第19号、産業遺産研究第20号、産業遺産研究第21号 各1500円 シンポジウム第29回「私のまわりの産業遺産」、シンポジウム第32回「技術革新と技術史を学ぶこと」、各1000円 の若干の在庫がございます。ご希望の場合は事前にお尋ねください。						

送本手数料 2冊まで ¥360 3冊以上の場合は、2梱包以上になる場合があります。注文の際にご相談ください。

申込方法 下記申込先に、お名前、住所、〒番号、連絡方法(電話番号及びE-mailアドレス)を明記の上、希望書籍・部数を振込前に必ずお知らせください。在庫の都合により振込されても送本できない場合があります。実際に送本を開始するのは、お客様からの入金が当方にて確認された後となります。

申込先 中部産業遺産研究会 書籍幹事 朝井 E-mail: chusanken@yahoo.co.jp
三菱東京UFJ銀行 鳴海支店

振込先 普通預金 1531266
チュウブサンギョウイサンケンキウカイ
中部産業遺産研究会

* 振込手数料はお客様ご負担をお願いします。なお、振込金受領書を領収書に代えさせていただきます。